

## 横浜国立大学と横浜市道路局が連携協力協定を締結します！

道路橋やトンネルなど、インフラの老朽化が進行しているなか、構造物の維持管理を行うにあたり、様々な視点と技術を取り込んだ対応が必要となっています。

このたび、国立大学法人横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院と横浜市道路局は、道路橋やトンネルの保全更新技術において相互に協力し、大学研究活動の発展及び市民の安全・安心の更なる向上を目指し、連携協力協定を締結します。

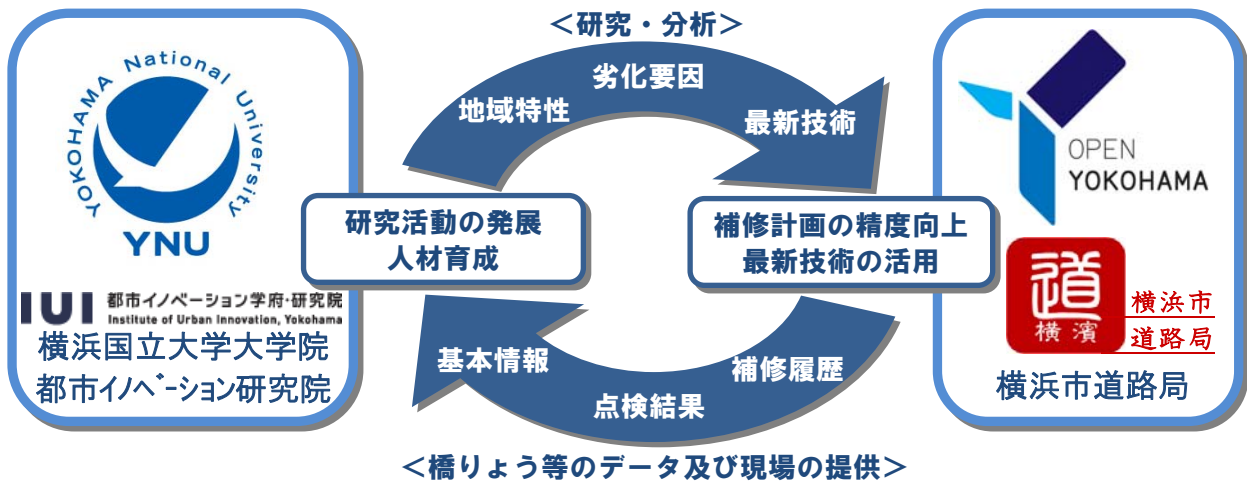
### <概要>

#### 1 協定名

国立大学法人横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院と横浜市道路局との横浜市道路橋及びトンネルにおける保全更新技術に関する連携協力協定書

#### 2 連携項目

道路橋やトンネルの維持管理、補修、更新等の技術に関する検討及び情報の共有



#### 3 協定締結者

国立大学法人 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院長 中村 文彦  
横浜市道路局長 手塚 文雄

#### 4 協定締結式

- (1) 日時 平成 26 年 12 月 22 日(月) 午前 10 時 00 分から
- (2) 場所 横浜市道路局長室 (中区港町 2-6 横浜関内ビル 9F)

## <協定締結による取り組み及び効果>

- 1 今後、連携・協力していく取り組み（予定）
  - ・本市が管理している道路橋(1,720橋)及びトンネル(39箇所)（以下、「橋梁等」。）の基本情報や劣化状況の情報共有
  - ・橋梁等の海岸部や内陸部などの地域特性、劣化要因及び補強・補修対策等の研究・検証
  - ・実構造物をモデルとした実験及び研究
  - ・現地の橋梁等を活用したロボット技術等の最先端技術の検証及び活用
- 2 期待される効果
  - ・研究成果を本市の修繕計画に反映させ、計画の精度向上による市民の安全・安心の向上及び維持管理費の更なるコスト縮減
  - ・最先端技術を活用したことによる維持管理の効率化
  - ・大学と行政との意見交換や研究等を通じた相互の人材育成



浦舟水道橋(南区)



東隧道(保土ヶ谷区)

## <参考>

- 1 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院の概要  
建築学・土木工学という都市のハードに関わる分野と、人文・社会科学、国際社会や文化・芸術などソフトに関わる分野の双方で、実務に長けた高度専門家の育成を行っている。特に土木分野では、主に橋梁（鋼・コンクリート構造、振動・風力学）・地盤・水環境・都市交通等をテーマに研究している。
- 2 本市と横浜国立大学の協定締結状況
  - ・平成 25 年 2 月 19 日：横浜市保土ヶ谷区との連携協力協定の締結
  - ・平成 25 年 6 月 5 日：横浜市との都市及び地域の再生・活性化に係る連携・協力に関する包括協定の締結
  - ・平成 25 年 6 月 12 日：横浜市水道局との連携協力協定の締結

### お問合せ先

道路局 橋梁課長 菊地 健次 Tel 045-671-2752